

キャラクター名
古田 宗次

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ	ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	UGNエージェント
	モルフェウス				
オプション	ブラックドッグ	年齢	32	性別	男
覚醒	生誕	衝動	飢餓	初期侵食率	35 %
出自	資産家	経験	力の暴走	邂逅	借り

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	23
肉体	1	0	0			1	行動値	19
感覚	5	1	0	3		9	(非装備時)	19
精神	1	0	0			1	戦闘移動	24
社会	1	0	0			1	全力移動	48

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	10		RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
リニアキャノン×3	射撃	9r+8		8		ドッジダイス-2、達成値-2
ナルカミ	射撃	11r+10	6	12		ドッジダイス-2、C値8 3、4、5、8
ナルカミ	射撃	11r+10	9	12		ドッジダイス-2、C値8、範囲(選択) 3、4、5、6、8
//	射撃	21r+10	15	12		ドッジダイス-2、C値8、範囲(選択) 3、4、5、6、8+7.80↑

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
強化服	1	1	0	0	

所持品	
カジュアル	
フォーマル	
ロックオンサイト	
コネ: UGN幹部	
情報収集チーム	

合計装甲: 1 合計回避: 0

ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	消費
Dロイス: 対抗種P		N	
春日恭二	P 執着	N 憐憫	
舞々火ハオン	P 感服	N 脅威	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	

最大財産P: 4 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ハードワイヤード	4	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 侵食+4 専用装備支給								
コンセントレイト:エンジェルハイロウ	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-[LV] シンドローム								
天からの眼	2	2	メジャー/リアクション	-	-	対決	-	
効果: 判定ダイス+[LV]個 射撃								
ギガンティックモード	★	3	メジャー	武器	範囲(選択)	対決	-	
効果: 対象を変更、使用後装備武器破壊 射撃、白兵								
サポートデバイス	4	6	セットアップ	至近	自身	自動	80↑	
効果: 感覚の判定ダイス+[LV×2] シナリオ3回								
小さな塵	2	2	メジャー	至近	-	射撃	-	
効果: 攻撃力+ [LV×2]								
見放されし地	★	-	メジャー	視界	-	自動	-	
効果: 任意の空間を闇で閉ざす								
ショート	★	-	メジャー	視界	-	自動	-	
効果: 電源を必要とする機械を1つ破壊								
万能器具	★	-	メジャー	至近	-	自動	-	
効果: 日用品を創り出す								
折り畳み	★	-	メジャー	至近	-	自動	-	
効果: 隠す								
壁抜け	★	-	メジャー	至近	-	自動	-	
効果: 壁抜け								
効果:								
効果:								

PC④
 ・ロイス: 春日恭二 (かすが きょうじ)
 推奨感情 P: 執着/N: 厭気
 ・カヴァー/ワークス: 指定無し/UGNエージェント
 キミはUGNのエージェントである。その活動の中で、ディアブロス、春日恭二と幾度か戦った事がある。
 PC①という新たなオーヴァードが保護された事件で霧谷雄吾に呼び出しを受け、春日恭二がなんらかの計画を行っているという事が伝えられた。

両親はランカスターグループ子会社の重役であったため、断片的にはあるがUGNの活動やオーヴァードに対しての知識があった。宗次は20年前の事件でオーヴァード化しており両親もそのことを知っていたが息子をUGNチルドレンにするのは忍びなく、息子には力を隠すように言っていた。宗次は力を恐れていたこともあり両親の言いつけを守り力を周りには隠していた。が、14年程前の高校卒業も間近というタイミングで車に引かれそうになった友人を助けようとした時に咄嗟に能力を使ってしまった。しかし力を使い慣れていないため最大出力で能力を行使してしまった。その結果車は大破し、友人は助かり死者こそ出なかったものの大きな事故になってしまい宗次はなし崩し的にUGNに保護されることになってしまった。ほとんど高校を卒業する直前だったので高校を卒業したことにはなったが合格した大学に通うことは無く、UGNエージェントとして生きていくことになった。